

FINANCIAL HISTORY

---

1929 : CRASH : CRISIS

# 世界大恐慌 --- 資本主義最大の危機

---

株価は89%下落し、失業率は25%に達した。世界のGDPは15%縮小。資本主義そのものが問われた10年間。

---

投資と思考の書齋

<https://anni-memo.github.io/investment-library/>

#### WHAT HAPPENED

## 何が起きたか --- ウォール街の崩壊と世界への波及

1929年10月24日、「ブラック・サザデー」。ニューヨーク証券取引所で株価が暴落した。翌週の「ブラック・チューズデー」にはさらに壊滅的な下落が続き、パニックが市場を支配した。

ダウ工業株30種平均は1929年9月の最高値381ドルから、1932年7月の41ドルまで下落。下落率は89%に達した。数百万人の投資家が一夜にして資産を失った。

株式市場の崩壊は銀行危機を引き起こした。預金者が一斉に預金を引き出す「取り付け騒ぎ」が全米に広がり、1929年から1933年の間に約9,000の銀行が破綻した。

危機はアメリカ国内にとどまらなかった。アメリカへの輸出に依存していた各国に波及し、世界のGDPは15%縮小。国際貿易は65%も減少した。

---

#### WHY IT HAPPENED

## なぜ起きたか --- 過剰投機と制度の脆弱性

1920年代のアメリカは「狂騒の20年代」と呼ばれる空前の好景気に沸いていた。しかしその繁栄の裏には、崩壊を準備する構造的な問題があった。

— 過剰なレバレッジ ---

証拠金わずか10%で株式を購入できた。株価が10%下落するだけで、投資家の資産はゼロになる

— 銀行の脆弱性 --- 預金保険制度がなく、銀行破綻が連鎖的に広がった

— FRBの引き締め失敗 --- 投機抑制のために金融を引き締めたが、暴落後も緩和に転じるのが遅すぎた

— スムート＝ホーリー関税法 ---

1930年に成立した高関税法が、各国の報復関税を招き、世界貿易を壊滅させた

これらの要因が複合的に作用し、単なる株価の調整が、人類史上最悪の経済危機へと発展した。

---

#### DEPTH OF CRISIS

## 恐慌の深さ --- 数字が語る壊滅

大恐慌の規模は、数字で見るとその異常さが際立つ。

— 米国の失業率：3%（1929年）から25%（1933年）へ

- 米国のGDP：1,044億ドル（1929年）から564億ドル（1933年）へ、46%減
- 物価は25%下落（デフレスパイラル）
- 工業生産は47%減少

職を失った人々は「フーバービル」と呼ばれるバラック村に住み、食料配給の列に並んだ。アメリカン・ドリームは悪夢に変わった。

「歴史は繰り返さないが、韻を踏む」 --- マーク・トウェインの言葉が引用される理由は、大恐慌のパターンがその後の金融危機に何度も姿を現すからだ。

---

WHAT CHANGED

## 何が変わったか --- 資本主義の再設計

大恐慌は「市場に任せておけば経済は自律的に回復する」という古典派経済学の信念を粉砕した。その廃墟の上に、新しい経済思想と制度が構築された。

- ケインズ経済学の誕生 --- 政府が積極的に財政出動すべきという理論が主流に
- ニューディール政策 --- ルーズベルト大統領による大規模な公共事業と社会保障制度の創設
- グラス＝スティーガル法（1933年） ---  
商業銀行と投資銀行の分離。預金者の資金で投機することを禁止
- SEC（証券取引委員会）の設立（1934年） --- 証券市場の透明性と投資家保護を担う機関
- FDIC（連邦預金保険公社）の設立 --- 預金保険制度により、銀行への信頼を制度的に保証

政府が経済に介入するのは「例外」ではなく「責務」になった。これは経済思想の根本的な転換だった。

---

FOR INVESTORS

## 投資家への教訓 --- 市場は底なしに見える瞬間がある

大恐慌が投資家に突きつける教訓は今も有効だ。

- レバレッジは上昇局面では利益を増幅するが、下落局面では破滅を加速する
- 市場のパニック時には、合理的な判断が最も難しくなる
- 89%下落した株価が元の水準に戻るのに25年かかった（ダウが1929年の高値を回復したのは1954年）
- 分散投資と流動性の確保は、最悪のシナリオへの備えである

大恐慌は、2008年のリーマン・ショック時に政策当局が「あの過ちを繰り返さない」と大規模介入に踏み切った原点でもある。歴史を学んだことが、より深刻な危機の回避につながった。

---

KEY TERMS

## 関連用語

### ブラック・サザデー

-- 1929年10月24日の株価大暴落の最初の日

### ニューディール

-- ルーズベルト大統領が推進した一連の経済政策・社会改革

### グラス＝スティーガル法

-- 商業銀行と投資銀行を分離した法律（1999年に撤廃）

### SEC

-- 証券取引委員会。証券市場の規制・監督機関

### スムート＝ホーリー関税

-- 1930年成立の高関税法。世界貿易の縮小を加速させた

---

## 投資と思考の書齋

<https://anni-memo.github.io/investment-library/>

投資は自己責任です。このサイトの内容は情報提供を目的とし、投資助言ではありません。